

## 衛生研究所研究課題評価実施要領

### (目的)

第1条 この要領は、衛生研究所研究課題評価実施要綱（以下「要綱」という。）  
第4条第3項の規定により、必要な事項を定める。

### (評価方法)

第2条 評価は別記評価調書（兼）評価票（以下「評価調書」という。）等により実施する。

### (評価調書の作成)

第3条 衛生研究所職員は、課題評価を受ける場合又は実施している研究を中止する場合は、前条の評価調書を作成し衛生研究所長に提出する。

### (自己評価検討会議)

第4条 前条の規定により提出された評価調書をもとに、自己評価検討会議は研究課題を整理する。

### (内部評価検討会議)

第5条 前条の規定により整理された研究課題に係る評価調書をもとに、研究課題内部評価検討会議（以下「検討会議」という。）は、課題評価を実施し、及び衛生研究所における重点的な研究課題を選定する。

### (検討会議の構成)

第6条 検討会議は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 健康福祉政策課長
- (2) 健康づくり支援課長
- (3) 疾病対策課長
- (4) 薬務課長
- (5) 衛生指導課長
- (6) 衛生研究所長
- (7) 衛生研究所技監
- (8) 衛生研究所次長
- (9) その他議長が必要と認めた者

2 議長は、衛生研究所長をもって充てる。

### (検討会議の開催)

第7条 検討会議の開催は原則として年1回とし、8月末までに開催する。

(評価項目、評価視点及び評価区分)

第8条 評価項目、評価視点及び評価区分の内容は次のとおりとする。

(1) 事前評価

評価項目	評価視点	評価区分
研究の必要性	<ul style="list-style-type: none"><li>・具体的にどのような問題が発生または発生することが見込まれているのか。</li><li>・どのような県民、関係産業界のニーズがあるのか。</li><li>・早く始めない場合にどのような問題や結果が生じると考えられるのか。</li><li>・県の政策、施策、計画、行政ニーズ等とどのように関連し、活用していくのか。</li><li>・研究成果が、誰にどのような利益や効果をもたらすのか。</li><li>・本県が行う必要性はあるのか。</li><li>・研究成果が県民、産業分野、他の学術に及ぼす影響は大きいのか。また、将来の発展性があるのか。</li></ul>	5:非常に高い 4:高い 3:認められる 2:やや低い 1:低い
研究計画の妥当性	<ul style="list-style-type: none"><li>・計画内容が研究を遂行するのに適切か。</li><li>・研究費や人材等が研究を遂行するのに適切か。</li></ul>	5:非常に高い 4:高い 3:認められる 2:やや低い 1:低い
総合評価		5:独創性・貢献度等が高く、是非採択した方が良い 4:採択した方が良い 3:部分的に検討する必要がある 2:大幅に見直しする必要がある 1:採択すべきではない

(2) 中間評価

評価項目	評価視点	評価区分
研究の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・研究の進捗状況は事前評価で設定した計画に対して適切か。</li></ul>	5:非常に高い 4:高い 3:認められる 2:やや低い 1:低い
今後の研究計画の妥当性	<ul style="list-style-type: none"><li>・計画内容が研究を遂行するのに適切か。</li><li>・研究費や人材等が研究を遂行するのに適切か。</li></ul>	5:非常に高い 4:高い 3:認められる 2:やや低い 1:低い
総合評価		5:独創性・貢献度等が高く、是非継続した方が良い 4:継続した方が良い

		3：部分的に検討する必要がある 2：大幅に見直しする必要がある 1：中止すべきである
--	--	--

(3) 事後評価及び追跡評価

評価項目	評価視点	評価区分
研究の進め方の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画内容が研究を遂行するのに適切だったか。</li> <li>研究費や人材等が研究を遂行するのに適切だったか。</li> </ul>	5:非常に高い 4:高い 3:認められる 2:やや低い 1:低い
研究目標の達成度、研究成果の波及効果及び発展性	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究目標がどの程度達成されたか。</li> <li>研究成果が試験研究機関の関係する分野に及ぼす影響は大きかったか。</li> <li>将来の発展性があるか。</li> </ul>	5:非常に高い 4:高い 3:認められる 2:やや低い 1:低い
総合評価		5:計画以上の成果が得られた 4:計画どおりの成果が得られた 3:計画に近い成果が得られた 2:わずかな成果しか得られなかった 1:成果が得られなかった

(4) 研究中止

評価項目	評価視点	評価区分
研究中止の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究の必要性が事前評価で設定した計画から損なわれているか。</li> <li>研究方法等を見直すことで、継続することが可能か。</li> </ul>	3：継続した方が良い 2：内容の見直しを行ったうえで、継続した方が良い 1：中止すべきである

(その他)

第9条 この要領に定めるもののほか、必要な事項については、別に定める。

附則

この要領は、平成25年4月1日から施行する。

この要領は、平成28年4月1日から施行する。

別記様式1

平成 年度 衛生研究所研究課題調書兼評価票(事前評価)

研究室名	研究室	研究期間		
職		平成	年度～平成	年度
氏名				
研究課題名				
研究の概要				
研究計画	<p>【研究計画】</p> <p>【研究資源:研究費及び研究人数】</p>			
所見・指摘事項				
評価 (該当するものに○をつける)	研究の必要性	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5		
	研究計画の妥当性	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5		
	総合評価	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5		

評価区分 1:低い 2:やや低い 3:認められる 4:高い 5:非常に高い

総合評価の評価区分 1:採択すべきではない 2:大幅に見直す必要がある

3:部分的に検討する必要がある 4:採択した方が良い

5:独創性・貢献度等が高く、是非採択した方が良い

## 別記様式2

平成 年度 衛生研究所研究課題調書兼評価票(中間評価)

研究室名	研究室	研究期間
職		平成 年度～平成 年度
氏名		
研究課題名		
研究の進捗状況		
今後の研究計画	【研究計画】  【研究資源:研究費及び研究人数】	
所見・指摘事項		
評価 (該当するものに○をつける)	研究の進捗状況	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5
	今後の研究計画の妥当性	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5
	総合評価	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5

評価区分 1:低い 2:やや低い 3:認められる 4:高い 5:非常に高い

総合評価の評価区分 1:中止すべきである 2:大幅に見直す必要がある

3:部分的に検討する必要がある 4:継続した方が良い

5:独創性・貢献度等が高く、是非継続した方が良い

別記様式3

平成 年度 衛生研究所研究課題調書兼評価票(中間評価:期間延長)

研究室名	研究室	研究期間				
職		(変更前)平成	年度～平成	年度		
氏名		(変更後)	～平成	年度		
研究課題名						
研究の進捗状況						
期間延長の理由						
今後の研究計画	<p>【研究計画】</p> <p>【研究資源:研究費及び研究人数】</p>					
所見・指摘事項						
評価 (該当するものに○をつける)	研究の進捗状況及び 期間延長の理由	1	2	3	4	5
	今後の研究計画の 妥当性	1	2	3	4	5
	総合評価	1	2	3	4	5

評価区分 1:低い 2:やや低い 3:認められる 4:高い 5:非常に高い

総合評価の評価区分 1:中止すべきである 2:大幅に見直す必要がある

3:部分的に検討する必要がある 4:継続した方が良い

5:独創性・貢献度等が高く、是非継続した方が良い

別記様式4

平成 年度 衛生研究所研究課題調書兼評価票(事後評価)

研究室名	研究室	研究期間				
職		平成	年度～平成	年度		
氏名						
研究課題名						
研究の概要						
研究成果						
所見・ 指摘事項						
評価 (該当するものに○をつける)	研究計画の妥当性	1	・ 2	・ 3	・ 4	・ 5
	研究目標の達成度、研究成果の波及効果及び発展性	1	・ 2	・ 3	・ 4	・ 5
	総合評価	1	・ 2	・ 3	・ 4	・ 5

評価区分 1：低い 2：やや低い 3：認められる 4：高い 5：非常に高い

総合評価の評価区分 1：成果が得られなかった 2：わずかな成果しか得られなかった  
3：計画に近い成果が得られた 4：計画どおりの成果が得られた  
5：計画以上の成果が得られた

別記様式 5

平成 年度 衛生研究所研究課題調書兼評価票(追跡評価)

研究室名	研究室	研究期間
職		平成 年度～平成 年度
氏名		
研究課題名		
研究の概要		
研究成果 (事後評価 以降の成果)		
所見・ 指摘事項		
評価 (該当するもの に○をつける)	研究計画の妥当性	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5
	研究目標の達成度、研究成果 の波及効果及び発展性	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5
	総合評価	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5

評価区分 1：低い 2：やや低い 3：認められる 4：高い 5：非常に高い

総合評価の評価区分 1：成果が得られなかった 2：わずかな成果しか得られなかった  
3：計画に近い成果が得られた 4：計画どおりの成果が得られた  
5：計画以上の成果が得られた



別記様式6

平成 年度 衛生研究所研究課題調書兼評価票(研究中止)

研究室名	研究室	予定していた研究期間	
職		平成 年度	～平成 年度
氏名			
研究課題名			
研究の概要			
研究の進捗状況			
中止の理由			
所見・指摘事項			
評価(該当するものに○をつける)	研究中止の妥当性	1	・ 2 ・ 3

評価区分 1: 中止すべきである 2: 内容の見直しを行ったうえで、継続した方が良い  
3: 継続した方が良い